

PRESS RELEASE

2013年3月21日
株式会社三菱総合研究所

日銀短観（2013年3月調査）予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）では、4月1日（月）に日本銀行より発表される予定の「企業短期経済観測調査（日銀短観）2013年3月調査」の業況判断DIについて予測を行った。

大企業・全産業の業況判断DI	—————	+ 1%ポイント（12月調査比 +4%ポイント）
同・製造業の業況判断DI	—————	▲ 7%ポイント（12月調査比 +5%ポイント）
同・非製造業の業況判断DI	—————	+ 7%ポイント（12月調査比 +3%ポイント）

業況判断DI（大企業・全産業）は、海外経済情勢の底入れや円安・株高による収益環境の改善などを背景に、前回調査から+4%ポイント改善し、+1%ポイントと予想する。

製造業では、円安による輸出採算改善の影響が大きいとみられ、業況判断DI（大企業）は、前回調査から+5%ポイント改善し、▲7%ポイントと予想する。ただし、内外需ともに実需面での回復の動きはまだ鈍いことから、9月の水準（同DI ▲3%ポイント）を依然下回る見通しである。素材産業では、円安によるコスト増も懸念され、業況改善の頭を抑える要因となろう。

非製造業は、消費マインドの改善や企業収益の回復を背景に、業況判断DI（大企業）は、前回調査から+3%ポイント改善し、+7%ポイントと予想する。卸・小売業の業況に明るさがみられるほか、大型補正予算の成立により建設業の業況改善も見込まれる。

先行きの業況判断DI（大企業）は、国内経済の回復への期待などから大幅な改善となろう。製造業が+6%ポイント、非製造業が+4%ポイントの改善を予想する。

日銀短観（3月調査）業況判断DI 予測結果

「良い」-「悪い」 単位：%ポイント		実績		予測	
		2012年 9月	2012年 12月	2013年 3月	2013年 6月
		9月調査 「最近」	12月調査 「最近」	3月調査 「最近」	3月調査 「先行き」
大企業	全産業	2	▲3	1	6
	製造業	▲3	▲12	▲7	▲1
	非製造業	8	4	7	11
中堅企業	全産業	▲2	▲5	▲2	0
	製造業	▲6	▲12	▲9	▲6
	非製造業	2	▲1	2	3
中小企業	全産業	▲11	▲14	▲12	▲12
	製造業	▲14	▲18	▲16	▲14
	非製造業	▲9	▲11	▲9	▲10

注1：シャド一部分が3月調査の予測値。

注2：「先行き」は、調査時点から3か月後を表す。

資料：実績は日本銀行「企業短期経済観測調査」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp

広報・IR部 笠田・武居 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp

尚、本資料は、内閣府記者クラブ、金融記者クラブに配布致します。